



豚饅の店 長江 絵／堀純子

ひとつください そのこゑ<sup>え</sup>で  
 ぼくはあなたに出会<sup>であ</sup>うでせう<sup>しょう</sup>  
 白煙<sup>はくえん</sup>まいまい 龍<sup>りゅう</sup>がまう  
 サヨナラ サヨナラ また来<sup>く</sup>るね  
 いつしかあたりが くらくなる  
 ぽわぽわふるふる ランタンともる  
 あたかもそこは桃源郷<sup>とうげんきょう</sup>  
 七賢<sup>しちけん</sup>たちのすむセカイ  
 ごうだだ ながるる 川<sup>かわ</sup>の名<sup>な</sup>は  
 ぼくが、知<sup>し</sup>ってる 店<sup>みせ</sup>の名<sup>な</sup>は  
 そうだ、そこだよ  
 長江<sup>ちょうこう</sup>は  
 街<sup>しょうてんがい</sup>のゴール

ぶたまん みせ ちょうこう  
 豚饅の店 長江 文／鈴木遼

